

おおさかしりつかたえしょうがっこう

えがおあんしん

みんなの笑顔・安心ルール（案）

あん

- 「みんなの笑顔・安心ルール」は、子どもたちにがんばってほしいこと、取り組むべきことを、あらかじめルールという形にして示しています。
 - 子どもたちは日頃より、「基本的な約束ごと」に示されたことがらを心がけ、自覚して自らの可能性を伸ばすことをめざします。
 - 学校は、一人ひとりがルールを守って積極的に行動し、みんなが笑顔で過ごすことができる、「よりよい社会（学校）」を作っていくことをめざします。
 - 学校は子ども一人ひとりの状況等も、全教職員で十分にふまえたうえで対応について判断します。また、全教職員で同じように対応していきたいと考えています。
- ※ 「片江小学校みんなの笑顔・安心ルール」の内容は、大阪市教育局振興基本計画に示された学校安心ルール（スタンダードモデルを参考にしています。
- ※ 「片江小学校みんなの笑顔・安心ルール」はP B S（Positive Behavior Support=ポジティブ行動支援）の考え方にたって作られています。

（きほんてきやくそく）

【基本的な約束ごと】

・きまりを守る

・自分も他の人も大切にしよう

・どんどんチャレンジしよう

	こんなことはやめよう		きまりをまもる	自分も他の人も大切にしよう	どんどんチャレンジしよう
登下校のときは	✕道いっぱいに広がって歩く ✕ポケットやそでに手を入れて歩く。 ✕あいさつしないでとおりすぎる。	⇒	○8時10分から8時25分に登校します。 ○交通ルールをまもります。 ○通学路を通ります。	○朝は、いろいろな人にあいさつしよう。 ○笑顔であいさつししよう。 ○低学年の人の困りごとを助けよう。	○声を出してあいさつしよう。 ○自分から進んであいさつしよう。 ○たくさんの人にあいさつをししよう。
授業中は	✕他の人のまちがいや失敗を笑う。 ✕よこをむく。わるい姿勢ですわる。 ✕かんけいのないおしゃべりをする。 ✕自分のもちものであそぶ。		○チャイムが鳴ったら、座席につきます ○かかとをふまずに上靴をはきます。 ○両足の裏を床につけ、背筋を伸ばして座ります ○授業が終わったら次の学習の準備をします	○話をしている人の方へ、おへそを向けよう ○話を聞きながら、うなずこう。 ○発表に賛成したり、質問したり、つけたしたりしよう。	○名前を呼ばれたら「はい」と返事をしよう。 ○わからないことは、先生や友達にたずねよう。 ○1時間に1回以上発表しよう ○みんなで意見や考えを出しおう。
休み時間には	✕人がいない校舎のすみや階段に行く ✕人をたたく、ける、押す ✕落書きする。物をこわす。 ✕他の人の物をかくす。すてる。 ✕チャイムが鳴っても遊んでいる。	⇒	○教室は上靴、運動場は下靴をまもります。 ○トイレをすませてからあそびます ○ボールの使い方や運動場の使い方を守ります。 ○チャイムが鳴ったら、すぐ教室にもどります。 ○くつ箱に正しくくつを入れます。	○「あったか言葉」を使おう。 ○困っている人や泣いている人がいたら「どうしたの」と声をかけてあげよう。	○休み時間は遊んだりおしゃべりしたりしよう。 ○自分たちで解決できないことは、先生に話すようにしよう。 ○音楽や体育の学習で習ったことを、休み時間に試して、うまくなるように練習しよう。
集会活動では	✕集合に遅れる ✕説明を聞かず、おしゃべりを続ける ✕他の人ができないことを笑う ✕ゲームやクイズに取り組まない	⇒	○時間をまもって集まります。 ○静かに説明を聞きます。 ○じゅんばんや、やくそくをまもります。 ○お話や説明を聞くときは、静かにします。	○話をしている人の顔を見て聞こう。 ○「がんばれ」「よかったよ」「～すればいいよ」などの声をかけてあげよう。 ○苦手だと思っている人を助けてあげよう。	○あきらめず、何度も挑戦しよう。 ○じょうずな人のやり方をまねししよう。 ○もっとじょうずになるようにとりくもう。
そうじのときは	✕そうじの場所に遅れる ✕おしゃべりばかりしている ✕じっとして、そうじをしていない	⇒	○チャイムが鳴ったら、すぐそうじ場所に行ってはじめます。 ○そうじの仕方のとおりにそうじをします。	○自分の役割のそうじをしよう。 ○自分のそうじ分担当が終わったら、まだ終わっていない人を手伝ってあげよう。	○自分の分担当場所を、時間内にきれいにしよう。 ○もっときれいになる方法を担当の先生に言って、ためしてみよう
ろうかでは	✕走る ✕うるさくする ✕ほかの人をからかう	⇒	○右側通行をします。 ○走らずに静かに歩きます。	○人とすれちがうときは、「どうぞ」とゆずりあい、体が当たったら「ごめん」と言おう。	○お客さまに出会ったら、元気よくあいさつをしよう。
学校が行う対応	・個別に対応します（その場で注意、家庭連絡、自己を振り返る活動など）	のぞましい行動とはどんなものか、具体的に教えていきます。のぞましい行動がしやすくなるよう、環境を整備していきます。 のぞましい行動ができたときには、認めたりほめたりして、さらに意欲が高まるようにします。			

